

36 下水道施設整備を進めます

主要
施策

- 36-1. 下水道施設の整備
- 36-2. 終末処理場の整備
- 36-3. 効率的な事業運営



下水管敷設工事

現況と課題

○平成16年度末における公共下水道の予定処理区域は、1,836.5haで、整備率は98.5%、下水道普及率は96.5%となっており、美しさと豊かさを兼ね備えたまちづくりに公共下水道の整備が欠かせません。

○雨水管渠[※]の整備率は86.2%で、柏木川やユカンボシ川の改修などに合わせて整備を進

めるとともに、河川への汚濁負荷軽減のため、合流改善や終末処理場の機器更新などを進めていく必要があります。

基本方針

下水管合流区域の改善や農村地域における合併浄化槽の整備を進め、河川の水質悪化防止と環境衛生の向上に努めます。

主要
施策

36-1 下水道施設の整備

管渠施設や農村地域における合併浄化槽の整備及び合流区域の改善計画による放流水質の改善を進めます。

【主な事業】

- ・ 下水管などの整備
- ・ 合流改善計画の推進
- ・ 合併浄化槽の整備

36-2 終末処理場の整備

合流改善にともなう終末処理場の整備や施

設更新を進めるとともに、発生汚泥を下水道資源として有効利用に努めます。

【主な事業】

- ・ 終末処理場の整備
- ・ 発生汚泥の有効利用

36-3 効率的な事業運営

効率的な事業運営を進めるとともに、受益者負担を明確にし公営企業化の検討・移行準備を進めます。

【主な事業】

- ・ 公営企業化の検討・移行準備



終末処理場(中島松)

37 ごみ処理施設を整備しごみを適正に処理します

- 主要施策**
- 37-1. ごみ処理施設の建設
 - 37-2. ごみ埋立処分場の整備
 - 37-3. 白樺ごみ埋立処分場跡地環境調査

現況と課題

○本市のごみ焼却施設が平成14年12月より老朽化により休止しており、新たなごみ処理施設の建設は、早急に取り組まなければならない課題となっています。平成11年度に、2市4町で構成する「道央地域ごみ処理広域化推進協議会^{※1}」が設置され、広域によるごみ処理施設の建設をめざして検討を進めています。

○可燃ごみのすべてが埋立処分されていることから、埋立処分場の供用期間が短縮されることになり、次期処分場の建設が必要になります。また、昭和59年度までごみ埋立処分場であった白樺ごみ埋立処分場跡地の継続的な環境調査が必要です。

基本方針

ごみの適正処理と減量化を推進し、ごみ埋立処分量の低減化を図るとともに、ごみ広域処理施設の早期建設をめざします。

主要施策

37-1 ごみ処理施設の建設

環境への影響に配慮し事業費用の縮減を図りながら広域ごみ処理施設の建設を進めます。

【主な事業】

- ・ごみ広域処理施設整備事業

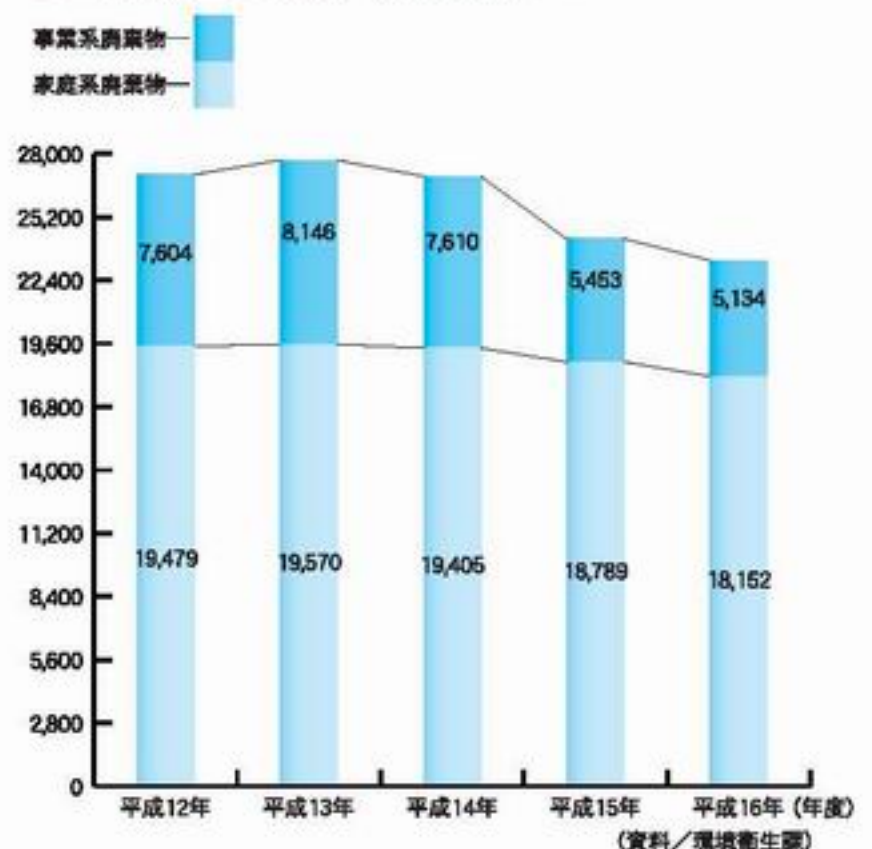
37-2 ごみ埋立処分場の整備

可燃ごみ焼却施設の休止で埋立処分場の供用期間が短縮しており、埋立処分量の低減と次期埋立処分場の建設を計画的に進めていきます。

【主な事業】

- ・第5期埋立処分場の造成

■ごみ排出量の推移(一般廃棄物)(単位/t)



※1 道央地域ごみ処理広域化推進協議会(志賀市・北広島市・長沼町・南幌町・由仁町・栗山町の2市4町で構成)

37-3 白樺ごみ埋立処分場跡地 環境調査

白樺ごみ埋立処分場跡地の継続的な環境調査を実施します。

【主な事業】

- ・白樺ごみ埋立処分場跡地環境調査の実施



ゴミ埋立処分場(盛況)

38 ごみの減量化とリサイクルを推進します

- 主要
施策**
- 38-1. ごみ減量化の推進
 - 38-2. 資源リサイクルの推進



リサイクルセンター

現況と課題

○ごみの排出量が増加する中で、持続可能な循環型社会^{※1}の構築が求められており、ごみの排出抑制と適正処理が重要になってきます。ごみの分別を徹底し、ごみの減量化・再資源化を推進していく必要があります。

○本市は、平成12年度にリサイクルセンター^{※2}を稼働させており、地域住民による資源物回収の取り組みが行われています。

○環境への負荷ができる限り低減される社会

をめざしていくことが求められており、より多くのごみを資源物として収集し処理するまでの体制づくりを進めていく必要があります。

基本方針

市民、事業者、行政の役割分担と協働により、ごみの減量化とごみ分別を徹底するとともに、資源対象物の拡大による資源リサイクルを推進し、環境保全と持続可能な資源循環型社会の形成をめざします。

また、処理経費の有料化について検討します。

※1—循環型社会：大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わり、廃棄物発生抑制・再使用・再資源化を第一に考え、新たな資源の投入をできるだけ抑えて環境への影響を少なくする社会

※2—リサイクルセンター：島松浜に建設。資源物の選別、資源化を行っている

主要 38-1 ごみ減量化の推進 施策

ごみの減量化や再資源化についての情報を提供するとともに市民、事業者、行政が過大包装や使い捨て商品などの消費を抑え、ごみを発生・排出しない、環境にやさしい循環型社会へ向けた活動を強めます。

【主な事業】

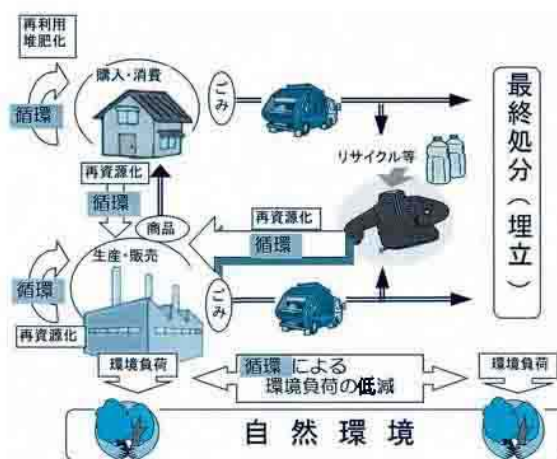
- ・ごみ発生排出抑制対策の推進

38-2 資源リサイクルの推進

ごみ分別の徹底とリサイクルを推進するとともにプラスチック製ごみなどの資源物として収集されていないごみを可能な限り資源物として処理します。

【主な事業】

- ・資源対象物の拡大



■市リサイクルセンターで再資源化された資源物の内訳別推移(単位/ト)

